

18 期生

カナダ留学2年半、やっとスタートラインに

ブリティッシュコロンビア大学 1 年 男子学生

留学してから2年半が経ちました。大きな変化としてブリティッシュコロンビア大学に入学したということがあります。編入して最初の学期が終わるので、区切りとして報告書を書かせていただきました。※2019年1月、報告あり。

中級マクロ経済学や経済史（技術革新）など、経済学だけを勉強した学期でした。3教科だけといった事もあり今までで一番リラックスした学期であったと思います。また授業内容のバランスも数学、歴史、批判的思考などたくさんのができ、良かったです。今までの自分の勉強のやり方を振り返る良い機会になりました。経済という学問は、限られた資源、資本、時間と人の尽きない欲求というこの世界で最大限の幸せ、強いては、最大効率の成長を追求する学問であると思います。この視点を獲得することがこれからの大学生活の一つの目標であると認識した学期でした。

留学をしてから、恐怖に駆られて勉強をするということが多かったように思います。Douglas College 在籍時は、テスト、課題があるたびに恐ろしく、やつつけのような形で勉強することが、多かったです。結果として理解が不十分なままテストで勘を働かせて点を取り、振り返ってみれば学習内容が整理された形で残っていない状態でした。これは、自分が短期的に記憶することに焦点を置いていて、その情報を体系的に残しておけば長期的、さらに言えば、人生通して使えるという事に気付いていなかったからだと分析します。そのことに気づいたのが、今年の11月中旬です。今は、授業で並んだ理論、生活の中で考えついた因果関係をしっかりと記し、それを元に勉強をするようにやり方を変えました。それからより勉強が身に入るようになり、また効率性が増しました。この気づきは、おそらく英語で勉強するというハンデが無ければ気づかなかつたという点で、とても貴重だったと思います。卒業する際に、自分の中で確立した知識の体系ができていることを目標に勉強に励んでいこうと思います。

来学期は、計量経済学（統計学）、中級ミクロ経済学、中国文学、経済法律分析、国際ファイナンス、お金と銀行、多変数関数の微積の授業を取る予定です。

今までの学期で満足と思える学期は、正直のところ一つもありませんでした。しかし今回の学期は初めて及第点、という風に思える学期でした。現在、自分は過渡期にいると感じます。留学してから、2年間は負債を返していくのに精

一杯という状態でした。今まで全く身につけて来なかった勉強習慣を獲得したり、英語を中学生英語から大学で勉強していくレベルにあげたり、家事を少しずつできるようになっていく、1人で居ても平気になるという作業です。今は、ある程度自分を律することができるようになり、長い目を見て目標を立て、英語も大分不自由なくなってきました。今やっとスタートラインに立ったような感覚です。

今学期はとても彼女の助けが大きかったです。一緒に勉強したり、クリスマス、タンクスギビングなどの休日を一緒に過ごしたりしてたくさんの時間を過ごしました。また彼女のお母さんにもとてもお世話になりました。寮生活も始まりルームメイトも韓国、アメリカ、オーストリア、カナダと多岐に渡っていました。掃除しない問題など大変なこともありましたが、楽しく生活できました。

日々、真摯に自分を高めていくことが、支援してくださる方への恩返しであると思います。頑張ります。

大学院への進学を決意 奨学金探して頑張る

中国地方の国立大学文学部の4年生になった女子学生

大学生活も、もう残りわずか1年となりました。残りは半分だと思っていたのが、つい昨日のここのように感じられます。2019年度はいよいよ最高学年になります。研究室でもサークルでも、私たちの学年が一番上です（大学院に進まれた先輩方はまだいらっしゃいますが）。もう卒業式は済んでしまって、先輩方もいらっしゃいません。先輩方を見送るのはもう3度目になりますが、1つ上の先輩方がいなくなってしまうと、なんとも寂しい気持ちになります。卒業していく先輩方のように、後輩たちに恥ずかしくない先輩でありたいです。

研究室では、いよいよ研究に本腰を入れていかなければなりません。先輩方のように頑張っていきたいです…と言いたいところですが、実は研究室には1つ上の先輩は殆どいらっしゃらなかったのも、独自路線でいかなければいけなさそうです。ともかく余裕をもって頑張りたいです。教授にはご迷惑をおかけすることになりそうです。卒業論文のテーマももう決めなければいけません。他の学部より大分早めなので、友人に話すとびっくりされますが、文学部はほかの学部より卒業論文に重きを置いているようです。

卒業した後のことも、もう周りの人はほぼみんな決めているようです。周りの友人たちは殆どが就職を目指して就職活動に励んでいます。私は大学院に進学したいので、勉強を頑張っていこうと思います。大学入試が思い出されますが、あの時はとにかくしなければいけない勉強量が多かったように思います。

今回は好きな研究と外国語力が必要になるので、勉強に関しては前回ほどには苦勞がなさそうに思います。アルバイトとの両立をできるかが少し不安なところですが（両立が苦手な性格なので…）、いい機会と思うことにして、スケジュールでも立ててやってみようと思っています。学費が一番の悩みの種ですが、奨学金を探しながらなんとか勉強していくつもりです。

サークルでももう頼られる側の4年生になります。後輩たちにとって頼れる先輩になるべく、この1年間頑張っていこうと思います。

太陽電池を研究して大学院進学へ

首都圏の私立大学工学部4年生になった男子学生

学業については、卒業までに必要な単位数はもうすでに取り終わり、残るところは卒業研究のみとなっています。研究活動も本格的に始まろうとしており、私はマグネトロンACスパッタ法を用いたTiO₂薄膜太陽電池について研究しようと思っています。今までの座学や先生の言われたように実験するとは異なり、主体的に実験を行うので、積極的に知識を吸収し、挑戦していきたいです。

生活については何不自由なく、暮らしています。

大学院に進学を決めたので、春休みは学会発表や卒業論文、修士論文発表などを参考にするため大学院に見学に行きました。また他大学に進学することも考え、他大学の研究室も見学させてもらい、他大学に受験した人、そのままの大学に進学した人それぞれの話を聞いた考えた結果、自分の大学にそのまま進学しようと思います。

その理由はいくつかありますが、一番大きなものとしては、自分の研究を大学4年も含めて3年間をかけて深めていけると考えたからです。今後は、大学院進学を決めたので、より一層勉学に励みたいと思います。また研究は1人ではなかなかうまくいかないなので、さまざまな人と関わり、協力を得られる人も増やしていきたいと思っています。

自損事故を起こし、九死に一生 過信は禁物と自戒

愛知県内の私立大学4年になった男子学生

春休みが終わり、いよいよ大学生活最後の1年が始まりました。3年の秋学期は講義数もかなり減り、ひとつひとつの授業に集中することができました。ゼミナールでは卒業論文のテーマを決めました。卒業論文は「リニア中央新幹線の開通で変化する可児市」というテーマで、私が実際に生まれ育った岐阜県可児市が2027年に東京名古屋間を結ぶリニア中央新幹線でどのように変化してい

くのか、そして、どう発展していくべきなのかをまとめています。参考文献がほとんどない中、近い将来を予測するこのテーマは思っていたよりも難しく、完成までに難航しそうです。

学業以外ではアルバイトに力を入れてまいりました。ガソリンスタンドでアルバイトを始めてから約半年が経ち、初めはうまくできなかったオイル交換やタイヤ交換も今ではスムーズにできるようになりました。また、会員カードの獲得件数も3ヶ月連続、社員含めて店舗1位、東海エリア1位になりました。

3月初めに交通事故を起こしてしまいました。かなりスピードを出した状態で縁石に乗り上げ、横転した単独事故で、車はその日をもって廃車になりました。当時、私の他に友人が乗っており、事故後すぐに集中治療室へ運ばれました。私自身も記憶が飛んでおり、起きた時には病院のベッドでした。事故現場に駆け付けた警官の話によると、生きていて逆に驚いたとのことでした。今は退院し、命に別条はありません。未だに記憶は戻ってきませんが、今回の事故で自分の過信した運転の仕方を見直し、同じようなことが起きないように努めてまいります。

3月から本格的に始まった就職活動は、交通事故のこともあり、少し出遅れてしまいましたが、企業説明会や企業イベントに積極的に参加し、採用試験も何社か受けている状況です。自動車ディーラー系の業界を主に見て活動をしています。今のところ2社が最終選考まで進んでいます。自動車ディーラー以外にも不動産と通信関係も試験を受けています。4月にも合同企業説明会などのイベントがあるので、様々な業界業種を見て決めていきたいと思っています。

入学前はこの先4年間やっていけるのか不安ばかりでしたが、郡司ひさる奨学金のおかげで4年生になれたこと、何不自由無く大学生活を送れていることに感謝いたします。

テレビ局勤務目指し、地域情報番組でアルバイト経験

東北地方の国立大学4年になった女子学生

密度の濃い1年間だった。まず、テレビ局への就職を志し、テレビ局の地域情報番組でアルバイトを始めた。主な仕事は音声の調整、カメラアシスタント、フロアディレクターのアシスタントなどでかなり実際の業務に近いことができる。基本的な仕事はすぐに覚えられたが、細かく気を配らなければならないことが多く、1年たった今でも注意されることが多い。特にフロアディレクターの時は1時間の番組の構成に気を配りながら、演者さんやカメラさんへの確かなアシストをしなければならない。全体を見渡す広い視野とすみずみに気を配る細やかさ、生放送の中でとっさにトラブルに対処する瞬発力が必要だ。まだま

だ行き届かないことが多いが、どのような進路になっても必要になる力だと思うので、努力したい。

また、秋に2週間、ヨーロッパへ旅行に行った。1年の頃から行きたいと思い続けていたのでプラハ空港に降り立った時はすでにやり切った感がしていた。チェコ、オーストリア、スペインを回り、それぞれに空気の違いを感じ取ることができた。また、語学力が心配ではあったが意外と何とかなるのだ、と思ったことも大きな発見だった。出立する前に思っていたような人生観の大きな変化はなかったが、学びの多い旅だった。次は北欧か東欧に行ってみたい。

もう一つ大きなこととして、後期の半年間で映画を制作した。10分ほどの短編だが、想定以上の大変さがあった。1分に満たないシーンをとるのに5時間以上かかったこともあった。現在、コンクールに出品しているが結果はどうあれ、チームで取り組んだこと、こだわりを貫いたことは卒業後の大きな財産になると思う。

現在は就職活動中である。その過程で大学生活を振り返ると、本当に様々な経験をさせていただいた。どのような進路になるかはまだわからないが、経験がつながるような職に行ければ、と思う。大学生活も残り1年になってしまった。就活、卒論などで4年間を結果として残すとともに、今年もまた何か新しいことにチャレンジしたいと思っている。

19期生

理学療法士の国家試験を意識して勉学励む

大阪府内の私立大学3年生になった男子学生

大学2年次の課程が終了しました。2年次全体を通しては、1年次の基礎的な内容を理学療法分野に応用する内容の授業が多く、一つ一つの授業の内容が難しくなりました。アルバイトの時間を減らし、勉強時間を増やすことで2年次は少し成績が上がり、納得のいく成績を取めることができました。また、学校での学習以外に4年次に受験する国家試験の対策、実習のための復習を行っています。国家試験の対策では、テキストを購入し早期から対策をすることで4年次の学習時間を他の分野に有効活用できると考え、継続して行っていこうと思います。目標は来年の模擬試験で国家試験合格点(全体の6割の点数)に達することです。実習前の復習では11月に控える実習で学びを充実させるためにこれまでに習った理学療法の検査評価方法と基礎知識の復習を行っています。11月の実習では理学療法を行う前に患者様の全体像をとらえるための検査、評価

を中心に実際に行い身に付けることが目的で、先生方、先輩方に話を伺うと一番厳しい実習と教えていただきました。そのため万全な対策を行い、有意義な実習を迎えたいと考えています。

私生活ではスーパーでのアルバイトを継続しています。大学卒業後を見据えてこまめに貯金をすることを意識しています。3年生は実習などでアルバイトに入れない時期があるので今年は自炊を増やし無駄遣いを減らすことを目標にし、生活していこうと考えています。

また、3年生は就職に向けた活動を積極的に行っていきたいと考えています。学校のテストや実習の対策だけでなく、自分が目指す病院への就職に必要な幅広い疾患の知識やリハビリの技術を身に付けること、就職見学候補の病院を見つけておこうと思います。これからも学校での学習に真剣に取り組み、理学療法士として必要な知識と技術を学ぶとともに、節約やアルバイトを継続して将来設計を進めていきます。

米国留学でマイノリティの立場を実感 思いを帰国後に活用へ

獨協大学3年生になった 臼井咲葉さん

いよいよアメリカでの留学生活も残り2ヶ月を切りました。日々、自分との戦いですが、まだネイティブと会話を十分に楽しむ余裕が出るほどペラペラ英語が出てこず、理想と現実の差を痛感しています。

最近、授業でマイノリティについて書くエッセイがあり、自分のアイデンティティについてじっくり考える機会になりました。日本から出たことのなかった20年間はずっとマジョリティの立場だったので、そのことを考えたこともありませんでした。ここではアメリカ人もみんな親切に接してくれますが、自分が自分ではなく日本人としてしか見られていないように感じることもあります。今まで直接的な差別を受けたことはありませんが、私の英語力だけではなく、外見や考え方からなんとなく違うものとして見られているような、同じ土台で関わっていないような感じがすることがあります。しかし、アニメや漫画など日本の文化が好きな人も多く、日本人というだけで良いイメージを持たれることに初めは戸惑いましたが今はとても嬉しいです。

今まではずっと海外への憧れが強く、日本はあまり好きではありませんでした。しかし、アメリカで生活するようになりアメリカの良さも日本の良さもたくさん見つけ、今は日本が好きです。マイノリティであることに加え、言語の壁があるため日本語を話すときのように自分らしさを出せず、うまくコミュニケーションが取れないことも多く悔しいです。日本のように相手の気持ちを察

することがあまりなくはっきり言わないと伝わらないなど、もっと自分のことを知ってもらいたいのにもうまく自分を表現できずもどかしい思いをしています。マイノリティであることを楽しんでうまく生かしたいのですが、自分の語学力への劣等感を捨て切れなかったり、自分を責めてしまったりすることもあります。

しかし、このような経験は日本には絶対にできなかったと思います。日本に帰っても違う国から日本に留学している学生や、日本で働いている人たちも私のように同じような苦勞をしていることがわかります。少しの態度や一言で傷つくこともあるということもわかるので、海外から来ている人たちへの尊敬の気持ちを忘れてはいけないと思います。

これから中間テストや期末テストも近づいてくるので、日本に帰ってからの後悔を一つでも減らせるように気を引き締めて過ごします。

高齢者の患者さんばかり、老年看護を学ぶ必要性痛感

関東地方の県立看護学校3年になった女子学生

無事2学年を修了し、4月から最高学年になります。思い返せば、あっという間の1年間だったように感じます。

2年生では、脳神経病棟、消化器病棟、特養の3か所での実習を行いました。どの実習でも入院患者さんは高齢の方が多く、日本の高齢化の実態を目の当たりにしました。実習を通して、高齢者の理解を深める必要性が高まっていることを知り、私は看護学生としてもっと老年看護について学ぶ必要があると思いました。

休日は、友達と遊ぶことが多かったのですが、最近は天気の良い日に近所を散歩したり、銭湯に行ったりして、1人でゆっくり過ごすことが増えたように感じます。近所でも通ったことのない道を歩いて新たな場所を発見した時のワクワク感が楽しくて、散歩は私のマイブームです。

成人式で、地元の友達に会った時には、皆あまり変わってないという安心感と、昔に戻りたいなという寂しさを感じました。今はそれぞれ学校や仕事で忙しいけど、また大人になったら、集まりたいなと思いました。

残り1年ですが、実習のほか、就職試験と国家試験が控えているため、「これまでの2年間より一層勉学に励み、来年の今頃は看護師という夢を掴んでいられるように頑張りたいと思います。

悩む 10 年先の自分 とりあえず教員免許取得目指す

大阪府内の国立大学3年になった男子学生

12月で20歳になり、様々な書類が届くたびに「ああ成人したのだな」と感じる事が多くなりました。今までは「周りの大人」に自分は含まれていなかったけれども、他の人から「大人」としてみられてしまうことがあると考え、今まで以上に責任があるのと同時に、社会の一員として認められているように感じます。

大学生活も折り返し地点に差し掛かり、3年生であるということの重みをいろいろな場面で感じる事があります。今直面している特に大きな問いは「10年後どうありたいか」ということです。これは自分がどんなキャリアを築き上げていくのかということとかかわりが深いと感じています。2年生の間に、就職を意識しつつ様々な人の話を聞き、情報を集めるという機会が多くありました。外資系企業や公務員の話を知っていると、どの業界も一長一短であり、自分の適性や興味関心に最も合うことは何かということ进行分析していると、時には不安があり苦勞するように感じられますが、発見があり楽しく感じられることもあります。

塾でのバイトの経験や、それ以外にも個人的に受験のために英語を教えるのが好きだと頼まれた経験などがあって、教えるのが好きだと感じるのと同時に一つの能力ではないのかと感じることがあり、3年の後期から教職の授業を取り始めました。正直なところ自分には教員以外にもできることはあるのではないかと思うところもあるので、まだ教員になるという決心はできていないのですが、教員免許の取得にも力を入れていこうと思っています。しかし、まだこの時期では選択肢をなるべく狭くせず、自分自身の就職あるいは将来に対するイメージをよりクリアにしていけるような1年にしたいと思います。

バイトマネージャーになったことで社会経験積む

中国地方の私立大学3年になった男子学生

2年生の後期は短く感じました。今年、成人式を迎え新たな一歩を歩んでいます。20歳になってから日々、大人としての責任感を持つ場面が多くなりました。人生をサポートできるよう、社会福祉士と保育士の取得のために学業に精進しております。その日々の授業で一番に支えたい人は誰だろうか深く考えさせられます。休みの間は地元へ帰省するために半日以上かけて帰ります。その時間が長く感じ嫌な気持ちを抱くことがありますが、それでも帰省できる場所があり、自分の体が勝手に帰ると考えるとどれだけ親に支えてもらってきたか

強く感じます。一番に支えてあげたいのは親や子供のころから見守ってきた身近な方だと思います。

学校生活では同級生が少なかったこともあり情報交換は薄れていましたが、先輩に情報を教えてもらい、日々の活動が意味のある行動に変えていくことが



できました。学業や将来願望の話をするだけでなく、バイト先と一緒に働くことで本当に助かったことが多くありました。今のバイトはただ働いてお金をいただくだけの形にならず、私がバイトマネージャーになったことで営業に対する責任を多く実感しています。バイトのポジションでは私が上だったとしても、バイト先の先輩方は付いてきてくれていることに感謝しています。私が就職する前にバイトマネージャーになったことで社会マナーや営業管理のスキルなど社会に通用することを身に付けたことに一歩前進したと実感しています。

新3年生では、実習が増え直接の行動で学ぶ機会が増えます。日々、短く感じますが、卒業までの短い期間を充実した大学時代にしたいと思います。そして、大学生活で身に付けたことを地元へ貢献し、お世話になった方などに恩返しできるよう尽くしていきたいです。

※写真は、特技の三味線を弾く男子学生

公認会計士になるために一層の努力

北陸の公立大学3年になった男子学生

3年生になり就職活動も考えなくてはならない時期になりました。今学んでいる、簿記やマーケティング、金融論などを活かした仕事に就きたいと考えています。より興味を持つために今年の夏には実際にそのことを活かせる仕事のインターンシップや説明会に積極的に参加して行こうかなと思っています。大学での授業もそうですが今年の春から公認会計士の資格を取るために勉強に一層の努力をしたいと思います。頑張ります。

今年の春休みには三重県のナガシマスパーランドに行って来ました。絶叫系は無理だと自分で思っていたのですが、乗ってみると意外と大丈夫でした。楽しかったです。あと伊勢神宮にも行って来ました。神々しかったです。

1年の秋に始めた居酒屋のバイトは現在も続いています。先輩が卒業して今や教えられる立場から教える立場になり、責任も時給も多くなりました。やはり夜遅く帰宅することが多いので朝起きるのが今でも苦手です。施設にいた時は7時には起きるのが当たり前だったことが今思うとすごいことなのだと改めて実感しました。

「継続は力なり」という言葉は良い意味でも悪い意味でもあって、居酒屋を続ける僕にとってはポジティブに捉えると「夜遅くまで起きている能力が上達した」ということだと思います。こんな能力はいらないですが。

何より、支えてくれている皆様のおかげで毎日それとなく楽しいです。ありがとうございます。これからもどうぞよろしく願いいたします。

施設でのアルバイト始める 職員の苦しさを実感

九州の国立大学教育学部3年になった女子学生

もう折り返し地点の3年生となりました。所属する子ども理解専攻もようやく4学年揃い、すでに和気藹々としています。研究室の配属も無事に決まり、自分のしたい研究に没頭することができます。私が選んだ研究室の先生は、引きこもりや不登校に対するケアを専門としています。私自身がそうだったわけではありませんが、他にも、自尊心を高めるケアや行動療法も専門の一つであるため、それが決め手となりました。先生は私が施設にいたことについて、とても前向きに受け止めてくださいました。教育学部にいるのに教職を志望しない理由や、私のバックグラウンドを知っている数少ない人の1人です。

約2ヶ月の春休みも有意義に過ごすことができました。あえて学園には帰省せず、SNSで近況報告を済ませました。父とプロ野球の春季キャンプにいき、2人でたくさんはしゃぎました。また、大学生になってから短期のアルバイトしかしてこなかった私が、ようやくちゃんとしたアルバイトを3月から始めました。大学と同じ市内の施設ですが、とても楽しくアルバイトをさせてもらっています。学園に卒園生として帰省して過ごすのとは全く違い、職員として幼児や小学生中心と関わるため、少し戸惑いもありましたが、いまさら前にいた施設の先生の思いも少しわかったような気がします。実際に責任のある立場として考えてみると、受け入れたくても我慢させなければならない場面がアルバイトである私ですら多くあり、正職員は毎日苦しいのじゃないかなと、ふと感じました。

3年生となり、実習に向けた指導案作成や注意点をメインとした授業に切り替わりました。小学校の学習指導要領の切り替わり時期に当たってしまい、どの部分がどう変わったのか、要領の変遷や指導案作成時の切り替えを覚えるの

がとても大変ですが、私が小学生の頃と変わった部分を知るのが楽しくもあります。

Weekly Work Café という大学が主催している、企業との雑談会に参加した際に知り合った先輩や後輩との交流もあり、とても充実した日々を過ごしています。企業側が感じている大学生に足りないものや、強みなど、大人のリアルな声を聞いて参考にしています。実習で忙しくはなりますが、スキルアップや趣味など、時間を有効に使っていきたいと思っています。

看護実習で初めて患者さんがなくなる 悲しさ超えて強い心を

九州の公立看護専門学校3年になった女子学生

2年生もあと少しとなりました。現在は、領域別実習という、今までより専門的な実習がはじまりました。7クールあり、2クール目が終わりました。やはり専門的な実習ということもあり、短時間で看護問題を見つけ、看護を展開しなければならぬため、毎日苦戦していました。今回の実習で受け持ちの患者さんが亡くなりました。初めての経験でした。急なことでとても驚き、悲しい気持ちになりました。看護師はこのような出来事があっても他の患者の看護もしないといけないため表情には出せません。心の強さと、気持ちの消化をして次に進まないといけないという厳しさを感じました。

実習が終わって次は卒業論文の作成をしています。受けもった患者さんの事例を用いて自分の行った援助の振り返りや疑問に思ったことの研究をし、解決に向けて取り組んでいます。慣れないパソコンを使い、慣れない文章でとても苦戦していて、毎日きつくてつらくてやめたいと思う日もありますが、友達に愚痴をはいたり、先生に励まされ背中を押されたりして、頑張っています。

施設入所経験生かし 虐待された児童の看護を目指す

首都圏の公立看護短大2年になった女子学生

前期では再試をなくすという目標が達成され、このまま再試がなく校内順位を上げるという目標を設定しました。テスト前の勉強を始める期間を前回までは3週間前からと設定していましたが、今回は1ヶ月半前からテスト勉強を始めました。結果としては校内順位をあげる目標は達成されませんでした。成績を維持することは出来たと思います。反省点として苦手と感じていた範囲を最後に回してしまっていたことが挙げられます。また3学年では、ほぼ実習のみになってくるので、そういった行動計画はきちんと練らなければ、後の計画に影響してくると思うので気をつけていきたいと思っています。

就職面では後期の教科にある小児看護方法で来てくださった外部講師の方の考え方に共感をし、自分の行いたい看護の方向性が定まりました。それは、私が児童養護施設に入所していた経験を生かし、虐待児や不適切な養育環境下にある子どもたちの支援を行いたいということです。春休みにはその方がいる病院のインターンシップに参加させて頂きました。他の病院のインターンシップも参加させて頂いたのですが、その病院のみ虐待児の話題が出され、病棟全体でそういった子どもたちへの看護を考えているのだと感じました。そこからその病院の小児科に勤めたいと思い、一段と看護への関心が増し勉学への意欲が湧いてきました。

現在はその病院が就職先第一志望として考え、就職活動を頑張っている行っています。それと同時に看護師国家試験の対策を行おうと考え、私自身の苦手としている範囲や領域を知るために、国家試験の過去問を解き分析しています。多くの問題に触れれば触れるほど知識が身につくと先生方から教えて頂いたので、1日5ページを目安に問題を解こうと考えています。

20期生

通信制大学に進学 スクーリングで他大学の学生と交流

関西の通信制私立大学2年生になった女子学生

この1年間、大学に通い、勉強してきて、苦労や悩みの多い年だったなど感じているところです。通信制なので周りに「同級生」と呼べる者がいるわけでもなく、どのように勉強を進めていくといいのかも分からずで、この1年間は常に手探り状態でした。

教科書丸々1冊を自力で勉強したことなどまずないものですから、どうやったら効率よく勉強できるか、バイトとの時間の融通はどうするのかなど常に考えています。年が明けてからは来年度の勉強の計画や履修登録を追加する科目、テキスト履修をスクーリング履修に変更する科目など考え始め、今月に入ってやっと大学側から来年度のテキスト履修の手引きやスクーリングの手引きなどの冊子が届いたので、共に送られてきた今年度の成績や履修登録表と睨めっこしながら勉強について考えるという日々を送っています。

私の通う大学では他の大学と提携を組んでいるらしく、他の大学に籍を置き、教員免許を取得するために科目履修生としてうちの大学にも所属している人がいます。たまに行くスクーリングではそういう学生が大半を占めることもあり、他の大学の学生との交流が出来ました。

スクーリングに行けば皆、真面目な学生ばかりです。スクーリングには座学の科目もあれば、体育のように実技中心の科目もあります。座学では、教授の言葉を一言一句逃すまいとノートにかじりついていきます。誰一人として居眠りしたりスマートフォンを触ったりするような学生はいません。実技ではグループ活動が主なので、グループ内の仲間とコミュニケーションを図りながら協力して授業を進めていくことがとても印象的でした。こういったことから、この大学に入学して良かったと思いました。

スクーリングに行った時に教授が兵庫教育大学の話をしてくれました。兵庫教育大学は、私が取得を目指している特別支援学校教員免許の専修免許を全て(5つ)取得できる珍しい大学だそうです。うちの大学を含め大抵の大学は特別支援教育の中で専門としているのは3つだと聞いていたので、大学を無事卒業できたら兵庫教育大学の大学院に進学したいと考え始めました。

最近、Twitter経由で私と同じ学年で、同じ大学の通信制の「同級生」と繋がることができたことが大きな変化です。彼女も通信制という勉強のやり方は初めてだそうで、私が半年～1年間勉強してきたことや、勉強の仕方やスクーリングの授業風景などを教えることも度々あります。今も交流は続けており、今後も続くと思います。

アルバイトは掛け持ちを最終的に3つしていましたが、スケジュール管理が難しいのと勉強する時間が無くなるため1つに絞り、雇用保険と社会保険にも入り、安定した収入を得られるようにしました。実は、車の免許だけでなく、バイク(普通自動二輪)の免許も取得したので、バイクを買うためにお金を貯めたいという気持ちもあつてのことです。

来年度からは週2回、1時間半、小学生の放課後の宿題の面倒をみるという活動もやっていくつもりです。忙しくなりそうです。今年度はあまり単位を取れなかったので、来年度で巻き返します。同じ過ちを犯さないよう、アルバイトと勉強を両立できるよう頑張ります。

英語上手く話せず、将来の職種決定に迷いも

大阪府内の私立短大2年生になった女子学生

今、大学内で開催されている「就学イベント」に参加しています。春休みが長期間ということもあって、久しぶりの大学は、とても新鮮で1年前に感じたように胸が一杯になりました。

私は、航空関係の仕事に携わりたく今の大学を希望したのですが、英語は理解できても、なかなか上手く話せないという自分に苛立ち、希望職種を変更しようかと迷っています。

説明会に参加してみて、興味が湧いた企業もたくさんありました。また公務員試験にもチャレンジしてみたいとも考えています。

長い人生の中で勉学に励む期間もあと1年となりました。悔いの残らないように、前向きに取り組んでいきます。

洋裁より和裁をしっかり学びたい

首都圏の私立大家政学部2年になった女子学生

入学してからあっという間に1年間が終わりました。入学して間もなくは、環境の変化に慣れていくことで精一杯でしたが、今は充実した生活を送れています。

成績については、前期と後期1年間を通して、和裁の授業を受けました。入学前から興味を持っていた分野であったため、授業や課題にも熱心に取り組むことができ、前期よりも後期の方が良い成績を取ることが出来ました。頑張っ取り組んだ成果があったため嬉しかったです。私は、洋裁よりも和裁に興味を持っているため、2年生になってからも和裁の授業を取り、まだまだ知らないことをたくさん学んでいきたいと思います。しかし、後期は英語の授業だけ、単位の修得ができませんでした。授業にはしっかりと出席していたため、テストの点数が足りていなかったのかなと思います。2年生の後期に授業を受け直すことになりました。英語の授業はもともと苦手なため、テスト前だけではなく普段から勉強していこうと思います。

そして、私はこの1年間でたくさんの人たちに出会いました。大学で新しい友達もでき、入学前から続けていたアルバイト先の店舗が移転したので、アルバイト先でも新しい仲間ができたりするなど、新しい環境で新しい人たちに出会いました。環境が変わったからこそ出会えたので、初めは不安だらけでしたが、たくさんの人たちに支えてもらいました。これからも、時には迷惑をかけることもあります。たくさんの人たちに支えてもらいながら、頑張っていきたいなと思います。2年生になってからも、学校でも生活でも気を抜かないように、頑張っていきたいと思います。

辛い牧場での研修やり遂げた

九州の公立農業大学校2年になった男子学生

進級出来ました。10月の先進農家体験研修では県内の牧場に行きました。その研修内容は、牛の餌やりや除糞フォークリフトでのロール出し、出荷準備、農業祭の手伝い、地域祭りの御神輿担ぎなどしました。なお研修は3週間あり、朝から夜まで作業をしました。とても辛く逃げ出しそうでしたが、いろんな方

に支えてもらっているので頑張ろうと思い、やり遂げました。

研修が終わってからは、農大祭（文化祭）の準備が本格的に始まり、畜産科の毎年販売しているベーコンやボンレスハムやプレスハムの加工をしました。農大祭当日は、多くのお客様や農大関係者の方に買いにきていただき、開店してから1時間ほどで完売になり、「もっと買いたかった」「買えなかった」などと言われました。大変にぎわって楽しかったです。農大祭後は、すぐ冬休みになり、帰省したり、農大で当番をしたりしました。

冬休み明けからは資格取得を目指して、農業技術検定2級の勉強をしました。が、残念ながら落ちてしまいました。2月は後期試験があったり、家畜公社見学、九州乳業緑の王国で酪農ゼミナールを受けたりしました。それに先輩たちが仮卒に入っているの、朝当番がとて多く、大変でした。

3月は卒業式と修了式、春休み、ガンジーファーム研修、本川牧場の見学などがあり、先輩方を送り出した時には、「次は自分が先輩なのだから頑張らない」と思いました。ガンジーファームの研修は自分の進路の一步として2日間行きました。このご時世、自分で牧場を持ってやっていけるか分からないので、農業法人などに就職し、働きながら経験を積みたいと思い、研修にいきました。ガンジー牛は日本ではあまり見ないので、楽しく研修できました。本川牧場は乳量生産トップで乳牛が3000頭で搾乳牛が1850頭で、県内で唯一のロータリーパーラーがありました。搾乳は1日3回で、1回の搾乳に6時間以上かかりずっと機械が回っていました。本川牧場には、ホルスタイン種、ブラウンスイス種、黒毛和種、F1品種がいました。とても規模が大きく驚きました。今度1週間ほど研修に行ってみたいと思いました。

半年かけて電光掲示板作成して研究発表

東北の情報処理専門学校2年になった男子学生

前回報告した通り現在、私はシステム科で勉強をしています。下半期は様々なことがありました。研究発表会や基本情報技術者試験、運転免許取得など忙しい日々でした。2月に研究発表会をしました。今まで勉強してきたことを最大限に活かして学校に貢献できるようなものを作るという内容でした。私たちの班では、電光掲示板を半年かけて作成し、先生方にプレゼンテーションという形で発表し、評価してもらいました。先生方の反応もとても良く、発表が終わった後は正面玄関に置き、お客様の名前を表示させてもらっています。来年度2年生になっても研究発表があるのでさらに良いものを作成できるように頑張ります。

10月に行われた基本情報技術者試験なのですが、私の勉強不足で合格することができませんでした。基本情報技術者試験は合格点が午前、午後共に60点な

のですが午前が 56 点、午後が 53 点という粗末な結果に終わってしまいました。しかし、12 月に行われた試験では無事に、私も合格しました。今後は午後の試験で 60 点以上取れるように勉強しています。

夏休み中に岩手県遠野市にあるドライビングスクールで合宿をして運転免許を取得することができました。乗るところから出発するまでの確認、運転免許の勉強などやることが沢山あり、これからどうなるのかなと初日から思っていたのですが、2 週間毎日免許取得の勉強や実技を何とかこなし、免許センターで免許を取得することができました。

学生会でレオクラブに入り、毎月活動しており、私はレオクラブで会長を任せられました。会長の責務をしっかりと果せるように今年の 12 月までしっかりと頑張っていきたいと考えております。

一人暮らしで、毎日大変な思いをしています。バイトを深夜までやっていて毎日寝るのが 3 時くらいなのですが寝る前の洗濯ものや皿洗い、掃除などをしているとあっという間に時間が経ってしまいます。しかし、これも自分で選んだ道なので後悔はありません。これから 2 年生になるので、1 年生の手本になれるような立派な 2 年生になれるよう精進していきます。

大変だった PR アニメーション制作 でもやりがいがあった

大阪のアニメーション専門学校 2 年生になった女子学生



入学してから 1 年が経ちました。不安だった学校生活も今では慣れ、忙しい日々を送っています。

1 年生ではアニメーションの基礎を学び、後期から企業と協力し PR アニメーションを制作しました。とても大変でしたが、好きなことなのでやりがいがあり、楽しかったです。あと、1 年生では学級委員長をしていました。まとめ役は苦手だったのですが、日々の仕事や 11 月にあった学園祭等を経験し、少し苦手意識がなくなったかと思えます。

今後の抱負は、2 年生に進級しこれから就職活動や卒業制作と忙しい日が続きます。更に、1 年生の時は施設から学校に通っていましたが、この 3 月に施設を退所し学校の近くで一人暮らしを始めました。慣れないこともありとても大変ですが、まずは慣れて安定した暮らしができるようになりたいです。就職活動では自分の行きたいと思える会社に行けるよう 1 年生の時よりもさらに日々の勉強や課題など

を頑張りたいです。卒業制作では、アニメーターコースのみんなと一緒に楽しみながらいい作品が作れるようにしたいです。そして、3月には笑顔で卒業できるようにしたいです。

※写真は、女子学生が描いたイラスト

お寿司屋でアルバイトリーダー 将来の教師にも役立つ経験

東海の私立大学2年になった男子学生

昨年度の後期は授業数も少なく、学費を工面するためのアルバイトに積極的に取り組みました。アルバイト先は、通学時に利用している駅の並びにある寿司屋で働いています。ホールでの仕事をメインに、その他洗い場や、厨房にも入り、アルバイトを始めて一年も経っていませんが、3月で先輩たちが辞めてしまったこともあり、店長からバイトリーダーを任せられ、頑張っているところです。

当初アルバイトは学費を工面するためだけに行っていましたが、アルバイトを通し、人とのつながりの大切さを改めて実感しています。僕は人と話すのが好きで、アルバイトでも笑顔と元気な声で積極的にお客様に声をかけ、少しでも良い気分でも帰っていただけるよう努力しています。そのかいもあってか、今ではお客様から逆に声をかけていただけることも多くなり、「いつもありがとう」と感謝されることもあります。この経験は将来、教師になったときに生徒たちとの関わりの中でも生きてくると思います。人当たりの良さと笑顔を武器に、僕にしかできない関わりをするために、これからも日々の些細な場面での学びでも大切にしていきたいです。

学習面では昨年度少し失敗してしまうこともありましたが、今年度からは教職課程の専門的な講義も増え、より深い内容へとなっていきます。さらに単位数も増えてくるため、前年度以上に気を引き締め取り組んでいかなければなりません。単位を落とすようなことが絶対ないように、アルバイトと勉強の両立をはかっていきたいと思っています。

事前学習をしっかりとし 看護の援助方法を学びたい

東海の看護専門学校2年になった男子学生

入学してから1年が経ち、無事に進学して2年生になりました。1年生では何度かテストを落としてしまいましたが、単位を落とさずにすべて習得することができました。学校のテスト順位が19位と前期より7位下がってしまったので、今年は10位以内に入ることを前期の目標にして学習に励んでいきたいと思

います。学ぶことも身体構造の基礎から疾患についてと変わっていき、また、看護学校なので2年生からは、基礎の実習以外にも高齢者を対象とした老年看護実習が入ってくるので、事前学習をしっかりと、看護の援助方法を学んで、これも単位を落とさないように頑張っていきたいです。

学校生活以外では、免許をようやく取得することができました。去年の6月から車校に通い始めて今年4月に取得したので、とても長い期間でした。バイトは今年あたりまでは学校と両立し続けていきたいと思います。忙しくなってきましたが、前期の目標が達成できるように頑張っていきます。

フィットネス関連就職のためにも資格取得目指す

東京都内の体育短大2年になった女子学生

入学して1年が経ち、ついに卒業学年になりました。この1年間は多くの事が学べ、充実した1年になりました2年になったと同時に、就職活動も始まり、説明会などで今はとても忙しい日々です。

勉強も怠らず、就職活動もするのできちんと両立できるように頑張ります。就職先はまだきちんと決まっていらないのですが、フィットネス関係に就職したいと思っています。

アルバイトも変わらず、プールの監視員のアルバイトを続けています。アルバイト先で仲良くなった友達とご飯を食べに行き、プライベートも充実しています。これから夏にかけてプールのお客さんが増えてくるので事故のないようにあと1年頑張りたいです。

学業では、1年次は選択した授業の単位はすべて取ることができました。資格も4つとる予定です。

家でも最近、自炊に慣れてきてメニューのバリエーションが多くなってきました。それと節約にこだわっているのも、節約レシピ本を見ながら作っています。一人暮らしを初めてもう1年ほど経つので生活費の計算をして1ヶ月やりくりしていくことに慣れてきて少し余裕ができてきました。これを卒業して引っ越しても安定して生活できると思います。

これから就職活動が本格的になってきますが、自分に合った会社に採用されるように面接練習などしていきます。卒業まで悔いの残らない学生生活を送りたいです。

保育士になる実習大変 ピアノの練習も頑張る

首都圏の私立短大保育科2年になった女子学生

短大に入学して1年が経ちました。この1年間は本当に大変なことばかりで、内心卒業まで頑張れるかなと思っていたけど、今は先生やクラスメイトに支えられて2年生にあがることが出来ました。大変だったのは実習でした。でも、実際やってみたら、勉強だけでは学べないことがたくさん学べたので、もっと頑張ろうと思いました。実習するうえでピアノはいろいろな曲を練習しています。まだ、難しいけど、将来に向けてしっかりこれからも練習を続けていきたいと思います。

一人暮らしは慣れましたが、1人でご飯を作ったり、家のことを1人でやったりとバイトとの両立で少し難しいし、大変な時もあるけど、今は楽しく頑張ろうと前向きにやっています。これからの2年生で実習や勉強を頑張ります。